

# 事業計画書

■当初 □最終

作成年月日	2021年3月20日
法人名	クオーレ・リッコ 合同会社
代表者職名前	代表社員 三宅 めぐみ
担当者名	連絡先

様式第2号-1

## 1 協議事項

事業種別	就労移行支援事業	事業所名	福山職業リハビリテーションアカデミー	開設(変更)予定日	2021年7月1日
------	----------	------	--------------------	-----------	-----------

協議の種類	計画の概要		本計画に記載が必要な項目													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
■ 新規事業所の開設 □ 事業の追加	■ 共生型サービス □ 共生型サービス以外 □ 多機能型サービス	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		■ 賃借・自己所有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		□ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
□ 定員の変更	□ 就労継続支援A型 □ 共同生活住居の追加 □ 上記以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
□ 大幅な事業内容の変更	□ 事業所の移転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
□ 建物の構造・設備の変更	□ 施設の構造・設備の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

## 2 事業実施に係る動機

企業における障害者雇用率の上昇に伴い障害者雇用の推進が求められる中、働きたい障害者と雇用したい企業との間に温度差が生じています。企業の求める理想像に必要なルールやマナー、仕事におけるスキルなどをしっかりと身に付け、選ばれる人材を育成するために就労移行支援事業を設立しようと思いました。また最近の傾向として発達障害の方やコミュニケーション能力に課題のある学生等の就労問題がクローズアップされておりその方々が社会へ踏み出す一助として企業と求職者の架け橋となることを目的として設立を決意致しました。

## 3 提供サービス

種別	① 就労移行支援事業	割合	100%	提供日	月火水木金土日
理念	可能性を最大限にいかし、「働きたい」を現実に。				
目標	私たちは、お一人おひとりにあったカリキュラムを提供し、働くために必要な資格や力、そして自信を身に付け、社会に羽ばたけることを目指します。「こんな人になりたい、あんな仕事に就きたい、思うような人生を創りたい」という気持ちに寄り添いながら、生きていく力と生き抜いていく力を手に入れてもらえるよう、スタッフも努力と研鑽に努めます。				
同種のサービス					

## 4 施設の概要【平面図は裏面のとおりに】

土地	所在地	福山市宝町6番14号	用途区域	商業地域	意見			
建物	所有者	新和建設工業株式会社	抵当権	あり	-本件は、都市計画法第4条第12項に規定する「開発行為」に該当しないため、同法第29条第1項の開発許可は不要です。 -当該建築物は、建築基準法上の用途「店舗、事務所、併用住宅」で確認済証、検査済証の交付を受けています。今回計画の就労移行支援事業所は、建築基準法上の用途「児童福祉施設等」に該当します。建築基準法上の手続きは不要ですが、採光・換気・排煙が基準法に適合していない恐れがあるため、確認してください。建築士等に相談し、建築基準法に適合した計画としてください。			
	名称	新和宝町ビル	構造	鉄骨造				
	用途	事務所	階層	4階				
事業の概要	種別	就労移行支援事業	使用する階	1-2階	専有面積	105.4㎡		
	手続	新規	収容人員	26人	内訳	職員 6人、利用者 20人		
	種別		使用する階		階	専有面積	㎡	
内容	申請種別	□ 新築 □ 増築 ■ 用途変更 □ 移転 □ その他	手続		使用する階	階	専有面積	㎡
	種別		手続		使用する階	階	専有面積	㎡
	種別		手続		使用する階	階	専有面積	㎡

## 5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	意見
	%	%	日 〆 日回収	
	%	%	日 〆 日回収	
	%	%	日 〆 日回収	

## 6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	意見
管理者	■ 常		50	20万円	・将来を見据えた人材育成をするために、給与体系を整備すること。
サービス管理責任者	■ 常		50	20万円	
職業指導員	■ 常 □ 非		65	16万円	
職業指導員	■ 常 □ 非		40	16万円	
職業指導員	■ 常 □ 非		68	8万円	
生活支援員	■ 常 □ 非		68	8万円	
生活支援員	■ 常 □ 非		21	8万円	
就労支援員	■ 常 □ 非		21	8万円	
就労支援員	■ 常 □ 非		62	16万円	
	□ 常 □ 非			万円	
	□ 常 □ 非			万円	
月給計					10.0万円
人件費	末日	25日支払	ボーナス	6月	1-2月

## 7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	意見
日本政策金融公庫	設備資金、運転資金	500万円	96万円	
		万円	万円	
		万円	万円	

## 8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	意見
土地	万円	補助金	万円	
建物	万円	自己資金	200万円	
設備	140万円	借入金	500万円	
車両	万円			
その他	万円			
運転資金	560万円			
合計	700万円	合計	700万円	

## 9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	意見
利用者見込 A	3人	5人	7人	15人	
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	16万円	16万円	16万円	16万円	
収入計 ①	0万円	0万円	47万円	210万円	
支出計 ②	45万円	161万円	161万円	161万円	
収支 ①-②	-45万円	-161万円	-114万円	49万円	
収入 B	万円	万円	万円	万円	
売上高 ※3	万円	万円	万円	万円	
支出 C	万円	万円	万円	万円	
利用者賃金	万円	万円	万円	万円	
必要経費	万円	万円	万円	万円	
最賃確保状況(A型) (((B-C)/25)/A)	円	円	円	円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

基本報酬 820単位 福祉専門職員配置等加算(Ⅲ) 6単位 初期加算 30単位(30日間) 処遇改善加算 6.4%

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先 下段:所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
	万円	□ あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円

※4 諸経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

10 付近図

小学校区	旭小学校	人口	40万	事業所数	1	事業所	1
		利用定員			6	人	6

省略

凡例

○ … 事業所

× … 同種の事業所

△ … 一次避難先

□ … 二次避難先

意見

11 平面図

※別紙参照

意見

12 事業計画

施設名	福山職業リハビリテーションアカデミー	意見
所在地	福山市宝町6-14	・別添の勤務形態一覧表(7月)に土曜日の勤務がなく、7月は土曜日の営業はないのか。「会社のカレンダーに定める土曜日」を示すこと。
事業種別	就労移行支援事業	
利用定員	20名	
開所予定日	2021年7月1日	
営業日	月曜日から金曜日 会社のカレンダーに定める土曜日	
休業日	日曜日・祝日・年末年始・ゴールデンウィーク・夏季	
営業時間	月曜日～金曜日 9時～17時 土曜 9時～12時	
訓練時間	月曜日～金曜日 9時30分～15時15分 土曜 9時45分～12時	

13 利用者処遇

<p>1. コミュニケーションスキルの向上</p> <p>私たちが最も大事だと考えているトレーニングがコミュニケーションスキルの向上になります。グループワーク形式でコミュニケーションの学習を行うことで、様々な知識や経験を持ったメンバーの考えを学ぶことができます。また職務上必要とされるビジネスマナーや電話対応スキル、プレゼンテーションスキルなど社会人として求められるコミュニケーションスキルを訓練の中で習得していただけます。</p> <p>2. 完全個別カリキュラム作成</p> <p>施設内では「資格取得」「パソコンスキル」「ビジネススキル」「作業訓練」「履歴書の書き方」「面接練習」など、全体のグループワークで講義を受講したのち、更に個々にあったカリキュラムを組み立てて就職を目指します。例えばパソコンの基本操作から、ワード、エクセル、パワーポイント、ホームページ制作やデザインなどの資格取得にも挑戦できたり早期から就労先を見据えた実践的な技能を訓練に取り入れ就職に向けての準備を円滑に進めます。</p> <p>3. 個別カウンセリング</p> <p>週1回はスタッフとの個別面談の時間を設けています。トレーニングに関する不安や就職に関する悩み、また生活面での困り事などの相談も受けており、安心して事業所に来られるような環境づくりに取り組みます。必要であれば関連機関やご家族様、医療機関とも連携を取りご本人様に寄り添った支援を行います。</p> <p>5. 社会を知る課外活動</p> <p>希望者については社会を知るために所外へ出て様々な課外活動を行っています。近隣の散策など日常生活に関連したことから農業体験、企業の職場見学など就労に関連した課外活動も行います。</p> <p>6. 就職活動</p> <p>企業へのインターンを経験しながら自分の適性にあう仕事を探していきます。実際の就職に向けて、面接の練習や履歴書の書き方も練習します。面接同行も行い実習先ではジョブコーチも行います。</p> <p>7. 就職後</p> <p>企業様や支援機関、ご家族様や医療機関など本人様を取り巻く支援環境の皆様方と連携を取りあい働きやすい環境づくりをサポートします。</p>	意見
	・スタッフのスキルを活かし、具体的にどのような支援を行うのか示すこと。 ・一般就労が困難な利用者への支援について、考え方を示すこと。

14 防災計画

年に2回(4月:消防避難訓練、9月:防災訓練)を、職員と利用者様参加にて行います。	意見
---	----

15 一日の流れ 月～金曜日

9時30分～9時45分	朝礼(本日の流れ、スケジュール把握)	意見
9時45分～10時00分	清掃活動・基礎体力作り	
10時00分～12時00分	集団での訓練	
12時00分～13時00分	昼食	
13時00分～15時00分	個々の訓練計画による訓練	
15時00分～15時15分	終礼(本日の振り返り・明日の予定確認)	
時 分 ～ 時 分		

事業計画書

□当初 ■最終

法人名: クオーレ・リッコ 合同会社
代表者職名前: 代表社員 三宅 めぐみ
担当者名: 連絡先

作成年月日: 2021年6月7日

1 協議事項

事業種別: 就労移行支援事業
事業所名: 福山職業リハビリテーションアカデミー
開設(変更)予定日: 2021年7月1日

協議の種類: 計画の概要, 協定の種類
表形式で新規事業所の開設, 定員の変更, 大幅な事業内容の変更, 事業所の移転, 建物の構造・設備の変更に関する項目を15項目で評価する。

2 事業実施に係る動機

企業における障害者雇用率の上昇に伴い障害者雇用の推進が求められる中、働きたい障害者と雇用したい企業との間に温度差が生じています。企業の求める理想像に必要なルールやマナー、仕事におけるスキルなどをしっかりと身に付け、選ばれる人材を育成するために就労移行支援事業を設立しようと思いました。

3 提供サービス

種別: ① 就労移行支援事業
割合: 100%
提供日: 月火水木金土日
理念: 可能性を最大限にいかし、「働きたい」を現実にする。
目標: 私たちは、お一人おひとりにあったカリキュラムを提供し、働くために必要な資格や力、そして自信を身につけ、社会に羽ばたけることを目指します。

4 施設の概要【平面図は裏面のとおりに】

土地: 福山市宝町6番14号
建物: 新和宝町ビル
用途: 事務所
階層: 4階
建築面積: 66.35
事業概要: ① 就労移行支援事業
収容人員: 26人(内訳: 職員6人, 利用者20人)

5 主要取引先

上段: 取引先
下段: 所在地
割合: %
掛取引: %
回収・支払の条件: 日/月
主な修正点

6 従業員

職種: 管理者, サービス管理責任者, 職業指導員, 生活支援員, 就労支援員
雇用形態: 常勤, 非常勤
月給: 50,200円 ~ 62,100円
月給計: 1,000,000円

7 借入金の状況

金融機関: 日本政策金融公庫
理由: 設備資金、運転資金
借入残高: 500万円
年間返済額: 96万円

8 必要な資金と調達方法

必要な資金: 700万円
調達方法: 補助金, 自己資金, 借入金
金額: 700万円

9 事業の見通し

利用者見込: 1月目 3人, 2月目 5人, 3月目 7人, 1年後 15人
月平均利用額: 16万円
収入計: 47万円
支出計: 16.1万円
収支差: 4.9万円

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費) + 全ての加算について記載すること
基本報酬 820単位 福祉専門職員配置等加算(Ⅲ) 6単位 初期加算 30単位(30日間) 処遇改善加算 6.4%

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例: 4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段: 受注先
下段: 所在地
1月当たりの受注額: 万円
契約書の有無: □あり □なし
回収・支払の条件

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品: 1時間単価
計算式: 円 × H × 日 × 人 = 万円

※4 諸経費: 消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

様式第2号-2

受付印

6月7日受付
(受付印省略)

10 付近図

小学校区	旭小学校	人口	40万	人	事業所数	1	事業所	6	人	事業所利用定員	6	人	主な修正点
<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ... 事業所</li> <li>× ... 同種の事業所</li> <li>△ ... 一次避難先</li> <li>□ ... 二次避難先</li> </ul>													
省略													

11 平面図

※別紙参照	主な修正点
-------	-------

12 事業計画

●施設名	福山職業リハビリテーションアカデミー	主な修正点
●所在地	福山市宝町6-18 新和宝町ビル1F・2F	7月は10日と24日の土曜日を開所します。以後については利用者にお知らせし、月に2回会社の定める土曜日に開所します。
●事業種別	就労移行支援事業	
●利用定員	20名	
●開所予定日	2021年7月1日	
●営業日	月曜日から金曜日 会社のカレンダーに定める土曜日	
●休業日	日曜日・祝日・年末年始・ゴールデンウィーク・夏季	
●営業時間	月曜日～金曜日 9時～17時 土曜 9時～12時	
●訓練時間	月曜日～金曜日 9時30分～15時15分 土曜 9時45分～12時	

13 利用者処遇

<p>1. コミュニケーションスキルの向上</p> <p>私たちが最も大事だと考えているトレーニングがコミュニケーションスキルの向上になります。グループワーク形式でコミュニケーションの学習を行うことで、様々な知識や経験を持ったメンバーの考えを学ぶことができます。また職務上必要とされるビジネスマナーや電話対応スキル、プレゼンテーションスキルなど社会人として求められるコミュニケーションスキルを訓練の中で習得していただけます。</p> <p>2. 完全個別カリキュラム作成</p> <p>施設内では「資格取得」「パソコンスキル」「ビジネススキル」「作業訓練」「履歴書の書き方」「面接練習」など、全体のグループワークで講義を受講したのち、更に個々にあったカリキュラムを組み立てて就労を目指します。例えばパソコンの基本操作から、ワード、エクセル、パワーポイント、ホームページ制作やデザインなどの資格取得にも挑戦できたり早期から就労先を見据えた実践的な技能を訓練に取り入れ就職に向けての準備を円滑に進めます。</p> <p>3. 個別カウンセリング</p> <p>週1回はスタッフとの個別面談の時間を設けています。トレーニングに関する不安や就職に関する悩み、また生活面での困り事などの相談も受けており、安心して事業所に来られるような環境づくりに取り組みます。必要であれば関連機関やご家族様、医療機関とも連携を取りご本人様に取り添った支援を行います。</p> <p>4. 社会を知る課外活動</p> <p>希望者については社会を知るために所外へ出て様々な課外活動を行っていきます。近隣の散策など日常生活に関連したことから農業体験、企業の職場見学など就労に関連した課外活動も行います。</p> <p>5. 就職活動</p> <p>企業へのインターンを経験しながら自分の適性にあう仕事を探していきます。実際の就職に向けて、面接の練習や履歴書の書き方も練習します。面接同行も行い実習先ではジョブコーチも行います。</p> <p>6. 就職後</p> <p>企業様や支援機関、ご家族様や医療機関など本人様を取り巻く支援環境の皆様方と連携を取りあい働きやすい環境づくりをサポートします。</p>	<p>主な修正点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョブコーチのスキルを活かし実際に企業実習に引率し本人と本人を取り巻くキーパーソンや関係者との繋がりを形成したり特性に合わせた仕事のやり方や進め方を企業の方と一緒に構築するような支援を行います。</li> <li>・一般企業への就職困難な利用者は一定の支援があれば雇用契約に基づく就労が可能な場合は就労継続支援A型事業、雇用契約に基づく就労が難しい利用者には就労継続支援B型事業へつなげる支援を行います。</li> </ul>
---	--

14 防災計画

年に2回(4月:消防避難訓練, 9月:防災訓練)を、職員と利用者様参加にて行います。	主な修正点
--	-------

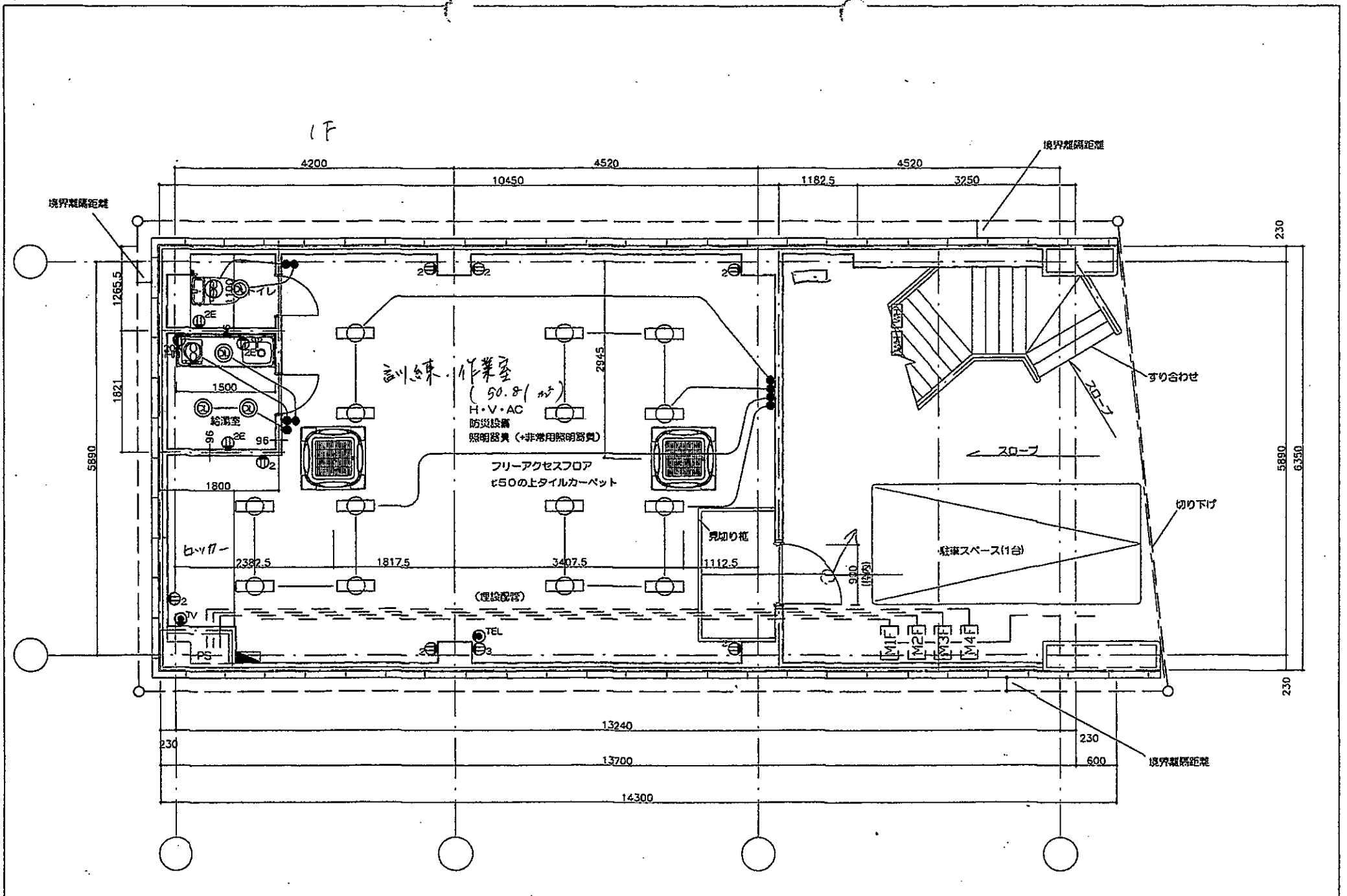
15 一日の流れ

9時30分～9時45分	朝礼(本日の流れ、スケジュール把握)	主な修正点
9時45分～10時00分	清掃活動・基礎体力作り	
10時00分～12時00分	集団での訓練	
12時00分～13時00分	昼食	
13時00分～15時00分	個々の訓練計画による訓練	
15時00分～15時15分	終礼(本日の振り返り・明日の予定確認)	
時 分～時 分		

## 設立動機の追加

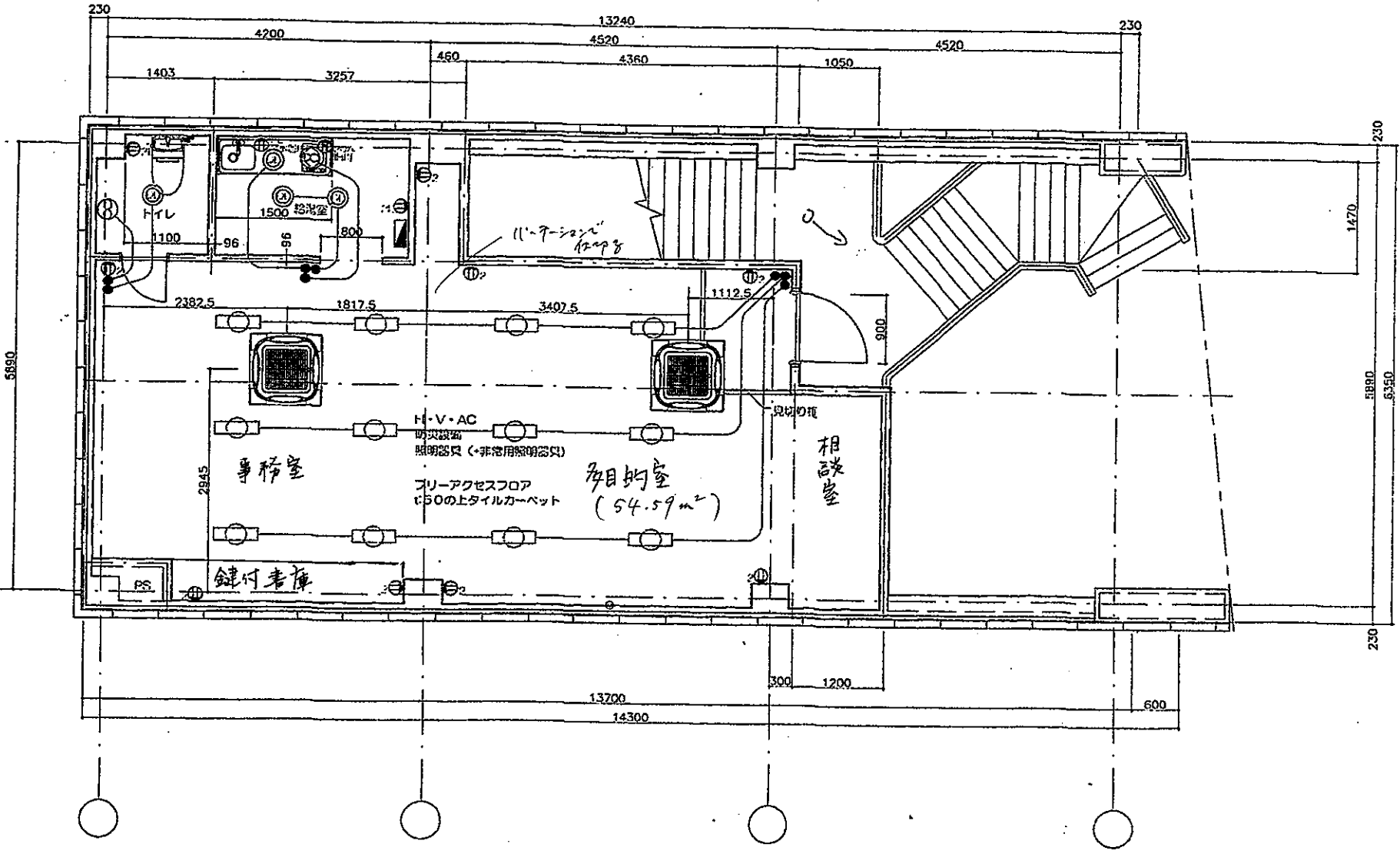
- ・企業は法定雇用率の引き上げに伴い、更に障がい者雇用を推進すると思われる
- ・企業側は雇用したいが障がい者に対する考え方や対応の仕方などを最初から丁寧に向き合うだけの時間と労力に余裕がないということで躊躇したり後手に回される傾向にある
- ・コロナによる雇い止めが増えているが社会的に必要とされるルールやマナー・作業的スキルを持ち合わせる人財が雇用継続の可能性が高い傾向にある
- ・障がいやハンディキャップを持たれた方はご自身の障がい特性がどのような仕事に向いているか、また受け入れ先としてどのような企業があるのか等、ご自身で探す事はなかなか困難である。  
職業評価で適性を見極め、特性にあった訓練を行うことでスキルを磨き、適材適所に見合った企業に繋げる事でお互いのミスマッチを防ぐことが出来、長期就労に繋げる事が出来る。
- ・あくまでも一般就労が軸であるので就労に特化した事業所を設立する事が目的であるが利用者の障害特性や就労適性が困難である場合は本人の得意を伸ばす事にも重点を置き就労継続支援A型事業所・就労継続支援B型事業者への移行も視野に入れる。
- ・全国に2ヶ所しかない国立の障がい者職業リハビリテーションセンターへは全国から1年間入寮をしてまで訓練を受講しに来ており福山からも毎年多くの方が入寮していた。弊社には西日本側の岡山県のある国立吉備職業リハビリテーションセンター出身の職員が2名在籍しているので特性に特化した訓練や就労支援体制を提供する事が可能
- ・利用メリットとしてPCの基本的な基礎資格を習得する事が可能であったり社会に出る前に必要とされるルールやマナーを習得出来る事、就労前の事前実習でジョブコーチが引率し企業様との連携を取りながらキーパーソンとの繋がりや環境整備、雇用上で必要となる相談支援等を一緒に構築することが出来る
- ・広島市内の同事業をされておられるリタリワークス様では現在定員が一杯になっており待機が発生しているとの事。担当者様のお話ではコロナによる雇い止めや新卒者の離職などで困っている障害者の方が多いとの事
- ・弊社にも実際に相談を受けている親御さんからのご相談で自宅に長期未就労の子供さんについて自立に向けての支援協力を望んでいるとお声かけあり。  
また未就労で引きこもっておられたり、家庭的な事情で就労が困難な方も多いとの相談あり。
- ・広島のリタリワークス様との違いは国立吉備職業リハビリテーションセンター同様の訓練やスキルの提供が可能な事と就労のみならず生活支援や相談支援も含めて経験も知識も豊富な社員が訓練に携わる事、弊社の社員が福山地域の企業様をはじめ支援機関、ハローワーク、医療機関、学校、就労支援事業所等、地元ならではの関連機関との繋がりが強い社員が携わる所が大きな違いである

- ・スマホの普及により利用者もネットで検索してアプローチしてくる事が主流になってきている。
- ・弊社の募集も SNS を活用し、福山のみならず岡山、広島など広範囲に渡って周知する
- ・ SNS 以外では・精神科・心療内科・脳外科・小児科等の医療機関・相談支援事業所・就業・生活支援センター・発達支援センター・子育て障害総合支援センター・労働局・障害者職業センター・大学・専門学校・高校（全寮制・定時制・通信制等）・支援学校・ハローワーク・若者サポートステーション・放課後等デイサービス等にお声かけをする
- ・駅前であることで近隣市町村など広範囲からの募集が可能
- ・発達障害のある方はいきなり就労した際に不安が大きい。障がい特性をしっかりと把握し、慎重に訓練を積む事で自信を持って就労に繋げる事が出来る
- ・従来のイメージである就労継続支援 B 型事業所へ入所する事が目的の就労移行支援事業所ではなく、あくまでも一般就労を目的とした就労移行支援事業所の設立をする
- ・利用者様をはじめご家族様、支援者様等と連携を取りながらそれぞれの困りごとに対し定期的に相談支援を実施する
- ・ストレス対処法や自己理解、他己理解を深め生きやすさに繋げながら一般企業に就労後も安心して味方になる存在であり続ける就労移行支援事業所を目指す
- ・企業も障がい者もお互いが必要とされる人材を育成し共に WIN-WIN の関係を構築する
- ・弊社へ勤務する経験豊かな社員も現状に満足することなく常に向上心を持って研修や講習会等へ積極的に参加し資格取得などに励む
- ・福山にあってよかった、待っていたよと言われる就労移行支援事業所を目指します!!



<b>ANABUKI D AND R</b> Architectural Intelligence	一級建築士事務所 株式会社 あなぶき実業建設 広島市南区大州三丁目6番3号 082-281-2804 Phone 082-281-3332 Fax	水廻り 設計 構造 設備	製図 D.Yama	020.09.30工事本	新和宝町ビル改修工事 1階平面詳細図	JOB Vol.1	図面NO. 見積用-3	
				SCALE S=1:50		図名		監度 REV.0

2F



<b>ANAIKUKI D AND R</b> Architectural Intelligence	一級建築士事務所 株式会社 安奈志き実地建設 広島市南区大洲三丁目6番3号 082-281-2804 Phone 082-281-3332 Fax	2020.09.18 D. Yama NAME Set: 1/50	新和室町ビル改修工事 2階平面詳細図	Vol.1	見橋岡-3
				REV.0	